

2013年5月8日

新型卓上顕微鏡「Miniscope® TM3030」を発売 —電子光学系の最適化により、高画質な観察画像を提供—

株式会社日立ハイテクノロジーズ（執行役社長：久田 眞佐男／以下、日立ハイテック）は、さらなる高画質観察を可能にした、卓上顕微鏡「Miniscope® TM3030」を開発し、5月7日（火）より発売を開始しました。

卓上顕微鏡「Miniscope®」は、ナノテクノロジーやバイオテクノロジー分野を始め、あらゆる産業分野の研究開発、品質管理などで使用される電子顕微鏡を製造・販売している日立ハイテックが、「最先端の顕微鏡を、もっと使いやすく、もっと身近に」をテーマに2005年4月に販売を開始した電子顕微鏡です。光学顕微鏡を超える高い倍率で観察でき、従来の電子顕微鏡であれば20分程度かかる立ち上げ時間が約3分と短く、低真空観察機能により試料の前処理なしですばやく観察ができるのが特長です。また装置サイズがコンパクトなため、オフィスなどで卓上に置いて気軽に使用できます。

卓上顕微鏡「Miniscope®」は、国内外において、民間企業・大学・官庁や科学館・小中学校などの教育機関でもご利用いただき、現在まで、初代機「TM-1000」、2世代機「TM3000」合わせて累計2,300台を出荷しています。

今回開発した、卓上顕微鏡「Miniscope® TM3030」は、試料の前処理なしで高解像度観察をしたいというお客様のニーズにお応えするため、観察画像の画質向上を実現しました。電子光学系の最適化により、「表面モード」（加速電圧 5kV）においては、高加速電圧では観察できない試料表面の微細構造をより鮮明に観察することが可能です。また高倍率観察においても、より鮮明で高画質な観察画像をご提供いたします。

「TM3030」は、国内外で年間400台の販売を見込んでいます。

日立ハイテックは、5月20日（月）から5月22日（水）まで、大阪府吹田市にて開催される「第69回日本顕微鏡学会学術講演会」において、本機の実機展示を行う予定です。卓上顕微鏡「Miniscope®」の世界市場での販売をさらに拡大し、早期に累計出荷台数3,000台突破を目指してまいります。



卓上顕微鏡「Miniscope® TM3030」

【卓上顕微鏡「TM3030」の主な特長】

1. 電子光学系の最適化でシャープな観察画像
2. 絶縁物試料を前処理なしで観察できる低真空タイプ
3. オートスタート、オートフォーカス、オート輝度などのオート機能で簡単操作
4. ワンクリック切替えの多彩な観察条件

【主な仕様】

項目	内容
倍率	x15~x30,000 (デジタルズーム：x2、x4)
観察条件設定	表面／通常／高輝度
観察モード	標準モード、帯電軽減モード
試料可動範囲	X：±17.5mm、 Y：±17.5mm
最大試料サイズ	70mm (径) 50mm (厚)
検出系	高感度4分割半導体反射電子検出器
自動画像調整機能	オートスタート、オートフォーカス、オート輝度
排気系 (真空ポンプ)	ターボ分子ポンプ、ダイアフラムポンプ 各1台
操作補助機能	イメージシフト
元素分析機能 (オプション)	エネルギー型 X 線分析装置
大きさ・質量 <本体 (マニュアルステージ) >	330 (幅) × 606 (奥行き) × 565 (高さ) mm、63kg

◆「第 69 回日本顕微鏡学会学術講演会」

<http://www.microscopy.or.jp/conf2013/>

◆製品ウェブサイト

<http://www.hitachi-hitec.com/science/miniscope/tm3030.html>

◆ご参考情報：日本経済新聞 電子版「理科教育支援のいまここ」－日立ハイテクの「理科離れ」対策－

<http://ps.nikkei.co.jp/hightech/v2-01.html>

■お問い合わせ先

科学・医用システム事業統括本部 科学システム営業本部 マーケティング二部
担当：根本、佐藤 TEL: 03-3504-5974

■報道機関お問い合わせ先

CSR 本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部
担当：武内、松本 TEL: 03-3504-7760